



# 公益社団法人 日本美術教育連合 ニュース

No. 146

2016. 2

〒113-0033 東京都文京区本郷2-30-14 文京ビル206号

公益社団法人 日本美術教育連合

発行人 理事長 宮坂元裕

ニュース担当 北川智久

E-mail: kitagawa@elementary-s.tsukuba.ac.jp

## 今こそ授業実践研究

公益社団法人 日本美術教育連合常任理事 大坪圭輔

初等、中等教育における公開授業を中心とする授業研究会は、日本の学校教育では至極当たり前の事であり、学校の日常風景のひとつであるとさえ言えます。一番身近な校内研に始まり、市教研や区教研などその機会は多種多様にあり、その中で共に指導力を育てて行こうとする教員間の意識は、日本の学校教育の質的保障そのものでもあります。しかしながら、諸外国にこのような事例を求めようとしてもあまり多くはありません。最近では、発展途上国への教育的支援のひとつとして、このような教員間の自主的授業研究の方法を輸出しようとする動きもあります。一方、この我が国における学校教育の優れた伝統のひとつである教員間の授業研究が、今、大きな曲がり角にあると聞きます。ひとつには教員の急激な世代交代によって、学び合う集団としての教員集団が成立し難くなっていることがあげられます。また、教員の多忙さが増すことによって、授業研究への意欲が低下し、それに充てる時間や気持ちのゆとりが持てないなどの背景が考えられます。また、さまざまな困難な状況乗り越えて積極的に授業研究を続けられている学校や地域からは、研究の方法を教えてほしいとの声も聞くようになりました。新しい学力観やアクティブラーニングの視点を踏まえた資質・能力の育成、カリキュラム・マネジメントの在り方などが論議されている中央教育審議会での議論の状況を見るにつけても、新たな授業研究の視点が求められている状況がそこにはあります。しかしながら、先生方の授業研究において最も大切なことは、今、目の前にいる子ども達との関わり合いの中から生まれた教育実践課題こそがその研究テーマであるべきです。そして、一般論としての研究方法ではなく、それぞれの授業実践課題に適した研究方法が考案されることが重要です。

## 公益社団法人日本美術教育連合 第6回 定時総会のお知らせ

日時 平成28年4月24日(日) 13:30～14:30 会場 聖心女子大学 400番教室

定時総会終了後 福島大学理事・副学長(中央教育審議会、教育課程企画特別部会委員)三浦浩喜先生のご講演があります。演題は「これからの美術教育の在り方を考える ―中央教育審議会教育課程企画特別部会の審議などから―」です。15:00～16:30、入場無料、どなたでも参加できます。

# 2015年度研究局二大業務の報告

理事・研究局長 山口喜雄 (宇都宮大学)

日本美術教育研究発表会と『日本美術教育研究論集』刊行が、研究局の二大業務です。結城孝雄事務局長の尽力と全役員の連携で東京家政大学板橋キャンパスにて、第49回発表会を実施しました。理論・実践研究、実践研究報告、研究ノート等による研究論集の年度内刊行をめざしています。

## 1. 2015年度研究発表会は史上最多38組申込、35組計38名発表、参加者100名

まずはじめに、発表申込先のアドレス誤記、申込者一覧への一部未記載がありましたことを深くお詫びし、次回にはご迷惑をおかけしない対策を研究局運営委員会で講じます。

第49回日本美術教育研究発表会は10月18日(日)に実施し、約100名の参加がありました。55分間のモジュール発表2組を含む申込は本研究会史上最多38組、うち発表者3名が欠席、35組計38名の口頭発表がありました。特徴は、1) 韓国・福島から香川・福岡・佐賀・大分まで、2) 男性20・女性18名(47%)、3) 60歳代から学部4年(3名)、4) 小中高・特支が計3、非常勤を含む短大・大学が計27(71%)、美術館・行政が0、院生・学部生が計8、5) 昨年より減少しましたが、トルコ、スペイン、韓国、アメリカ等々の国名・地名が題目に付されて“InSEA-JAPAN”の名に相応しい研究主題で発表されました。終了後の懇親会も、近隣会場にて参加者40余名が集い交流を深めました。

### 第49回 日本美術教育研究発表会2015

平成27(2015)年10月18日(日)実施

	発表会場 A (制度・海外)	発表会場 B (美術教育実践など)	発表会場 C (鑑賞教育など)	発表会場 D (保育・発達)
1	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(17) - 「適応」と美術教育に関する考察 宇都宮大学 山口喜雄	戦後美術・図工教員によるオーラルヒストリーの研究 - ものづくりを通して人間形成の実績と継承 - 東京家政大学大学院 三村彩子	きっかけがある画面から描く行為についての考察 鶴見大学短期大学部非常勤講師 山田佐映子	地域の子育て支援活動に参加した大学生の学び 実践女子大学 井口眞美
2	創造主義を支えるシステムの顕在化 - 日本の美術教育におけるデュエイの受容と展開 - 東京造形大学 小林貴史	高学年児童の意欲を引き出す描画指導の実践 - ヨーロッパの現代芸術教育学の遺産を手がかりとして - 足立区立青井小学校 黒田潤子	デジタルコンテンツを活用した自律的・協働的鑑賞活動(I) - 間テクスト性概念に基づくデジタル鑑賞教育の原理 - 香川大学 安東 恭一郎	異年齢保育における「造形」のあり方についての考察 秋草学園短期大学 小口 偉
3	〔モジュール発表〕 トルコのイスタンブールにおける美術教育 滋賀大学/宇都宮大学/福島大学 新聞伸也/山口喜雄/天形 健	〔モジュール発表〕 造形批評力獲得のためのプログラム開発 武蔵野美術大学 三澤 一実	デジタルコンテンツを活用した自律的・協働的鑑賞活動(II) - 脱構築論的鑑賞の体験を根拠とした鑑賞授業の試案と実施 東京家政大学 畑山 未央	木材の端材等を有効利用する造形用素材の開発 群馬大学 林 耕史
4			デジタルコンテンツを活用した自律的・協働的鑑賞活動(III) - 〈新しい能力〉と鑑賞教育を結ぶ実践研究 - 東京家政大学 結城孝雄	丸シールとクレヨンによる構成あそびについて 鶴見大学短期大学部非常勤講師 馬場千晶
5	ニューヨークのファミリープログラムによる在留日本人子女の教育の実態 - ノグチミュージアムでの現地調査から - 福岡教育大学非常勤講師 樋口和美	2030教育モデルと美術科教育における人間性教育の検討 東京学芸大学 山田 一美	美術館における体験型作品の鑑賞支援効果について 筑波大学大学院 阿部 美里	若い幼児教育者が日頃感じる「造形指導上の悩み」についての一考察 東京家政大学 森田 浩章
6	美術科教育における色彩と感情の関係 - ミッフィー(うさこちゃん)の絵本を題材として - 佐賀市立城北中学校/中村学園大学 姉川 明子/姉川 正紀	美術科教育養成における地域振興活動の実践 - 「群馬県やま・さと応援隊」の活動について - 群馬大学 齋江 貴志	対話形式を取り入れた鑑賞の授業実践における実効性と授業改善の視点 福島大学大学院 宮田 彰史	造形表現活動における「見立て」と「仕立て」の構造 鶴見大学短期大学部 鮫島 良一
7	美術教育における内容言語統合型学習(CLIL)の研究 - スペインの英語版初等美術教科書におけるCLILの指導法と評価について - 大分大学 藤井 康子	図画工作科研究主題に関する一考察 - 2015年関東地区国立大学法人附属小学校の研究紀要および参観に基づいた策定 宇都宮大学4年 吉澤 友希		描画指導に関する指導の研究 - 絵の嫌いな児童たちの要因と指導法について - 東京家政大学4年 松永 美里
8	韓国における2015教育課程改訂の方向と内容 韓国 春川教育大学校 柳 芝英		もう一つの美術教育 - 老人デイサービスセンターにおける造形教育 - 東京家政大学大学院 中條 秀憲	子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題 IV - 身体経験に基づく比喩的イメージの形成 - 東京福祉大学 立川 泰史
9	図画工作科における「授業化」に関する一考察 東京学芸大学 西村 德行	空間認識の発達とボディ・イメージに関する一考察 埼玉県立越谷西特別支援学校 小野 恵	SEA - Socially Engaged Artとしての美術教育 神奈川県立大和南高等学校 片桐 彩	色覚特性をもつ子どもたちの抱える課題 - 図画工作科の授業に着目して - 東京家政大学4年 日比 歩
10	短期大学における教員養成の課題と可能性に関する考察 國學院大学橋本短期大学 宇都宮大学大学院 名取 初穂	身近な世界との関係を福み直すための造形教育プログラムの研究 - 子どもとのユーモアを切り口として - 東洋大学 北澤 俊之	地域総ぐるみの公開研究保育の実践 聖徳大学短期大学部 北沢 昌代	

## 2. 日本美術教育研究論集について

研究論集編集委員会委員長 小林 貴 史（東京造形大学）

本年度発行を予定しています日本美術教育研究論集第49号では、昨年の研究発表会にて発表された中から29名の方の論文掲載を予定しています。その内訳は、A群（理論・実践研究論文）が11名、B群（実践研究報告）が8名、そしてC群（研究ノート）が10名となっています。ご投稿された方々には、年末年始のお忙しい日程中、ご協力いただき感謝しております。現在、年度内に皆様のお手元に届くことを目指して編集作業を進めておりますので、どうぞご期待ください。

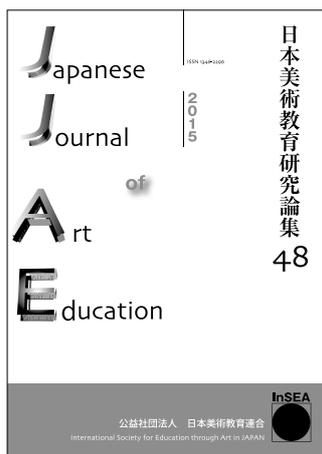
### 事務局便り 1

## 公益社団法人 日本美術教育連合 発行 日本美術教育研究論集 第49号

**2016年3月末日 発行します！**

公益社団法人日本美術教育連合では、毎年「日本美術教育研究発表会」を、文部科学省の後援を得て開催しております。この発表会で提案・報告された美術・造形教育に関わる研究・実践の数々が1冊の研究論集となり会員の皆様および関係諸機関に届けられます。それが『日本美術教育研究論集』です。多角的・先進的な研究、日頃の実践に裏打ちされた貴重な報告などが1冊にまとめられた内容の濃い論集です。

本年度も昨年度に引き続き、年度末（2016年3月末日）に発行する運びとなりました。  
どうぞ御期待ください！



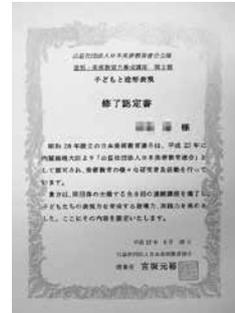
写真は48号です。デザインは若干変更される場合があります。

## 報告 連合ライセンス講座

### 美術教育力養成講座 第2期2次 「子どもと造形表現」 終了

事業局長 水島尚喜

平成27年8月24日、25日の両日にわたって連合主催の連続講座「造形・美術教育力養成講座 ― 子どもと造形表現 ― (全8回)」が盛況に開催されました。(会場：武蔵野美術大学新宿サテライト) 平成28年度の開催内容につきまして、皆様、どうぞご意見やご希望を御寄せください。



修了認定書



榎原先生、関口先生「特別支援教育から学ぶ」



奥村先生の熱血レクチャー「子どもの絵の見方」



西村先生のワークショップ「表現と鑑賞の狭間」



小林先生、北澤先生から美的プログラムを体験的に学ぶ



宮坂先生「海外での表現教育の事例」



茂木先生のデジタルメディアを用いたワークショップ

## ■InSEA NEWS 1・2月号より

### □アジア便り：第1回台湾国際アートオリンピックの開催

台湾が開催する国際アートオリンピック（2016年8月15～19日、国立台湾師範大学）は、芸術と美に焦点を当てたグローバルな教育イベントであり、「生徒たちの芸術的、美的真価」をコンセプトにした様々な国々との文化交流や協働活動が計画されています。美術、音楽、ダンスの各部門における芸術的才能にあふれたアジア太平洋地域の中高校生（9th-12th grade）の参加を呼びかけています。詳細は次のアドレスのホームページをご覧ください。

<http://aecntnu.wix.com/artsolympiad-taiwan>

### □ユネスコ国際芸術教育週間2016

期間：2016年5月23～29日 テーマ：持続可能な発展のための芸術教育

InSEA担当者はこの祭典のためのポスターを、本部（insea@insea.org）へ送付されるよう求めています。また、InSEAとInAEA（International Art Education Association：国際芸術教育協会）は、共同で「ユネスコ国際芸術教育週間2016」のバーチャル展覧会をスタートさせます。詳細は次のInAEAホームページをご覧ください。<http://www.inaea.org/post/2016/01/13/Call-for-artworks-Celebrating-the-2016-UNESCO-International-Arts-Education-Week.aspx>

### □ヨーロッパ便り：ヨーロッパ議会宛文書

2015年11月に開催された「ヨーロッパ地区会議」が、「ヨーロッパ議会教育文化委員会」宛に提出した文書が公開されています。詳細は下記のアドレスをご覧ください。

[http://www.insea.org/docs/2014.17/regions/VAE\\_Lisbon\\_Letter\\_InSEA2015.pdf](http://www.insea.org/docs/2014.17/regions/VAE_Lisbon_Letter_InSEA2015.pdf)

また、このヨーロッパ地区会議の700ページ近くの議事録も公開されています。

<http://www.insea.org/docs/inseapublications/proceedings/procedingsInSEAEuropeancongressLisbon2015.pdf>

### □アフリカ・中東地区会議の開催

「文化の創造性と会話」をテーマとして、2016年4月3日～6日に、カイロで「第1回アフリカ・中東地区会議」が開催されます。

<http://www.amesea.org/index.php/en/about-confrance.html>

### □第4回芸術を基礎とする研究と芸術的研究のための会議の開催

「芸術を基礎とする研究と芸術的研究の再考、そしてグローバルとローカルのコミュニティ」をテーマとして、2016年6月28日～30日にヘルシンキ、アールト大学で開催されます。

<http://taide.aalto.fi/en/research/arts-based-research/>

### □ユネスコ便り：持続可能な発展のための教育（ESD）におけるユネスコ情報・資料センター

ユネスコはGlobal Action Programme on EDSとして下記のサイトを立ち上げ、参加国に情報を発信し、資料を提供する事業をスタートさせます。

The Clearinghouse（情報センター）：<https://en.unesco.org/gap-esd-clearinghouse>

The Resource Bank（資料センター）：<https://en.unesco.org/esd-repo/>

## 公益社団法人日本美術教育連合 第5期 第3回理事会議事録

1. 招集通知 平成27年10月28日（水）
  2. 開催日時 平成27年11月22日（日）午後1時30分～4時30分
  3. 開催場所 東京家政大学
  4. 出席した理事の氏名 大坪圭輔 水島尚喜 宮坂元裕 山口喜雄
  5. 出席した監事の氏名 北澤俊之
  6. 欠席した理事の氏名 郡司明子（公休）
  7. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果  
定款の規定に従い互選により理事宮坂元裕が議長に就任した。  
第2回理事会議事録の確認を行った。  
その後、直ちに議案の審議に入った。
- 第1号議案** 山口喜雄理事より第49回日本美術教育研究発表会2015の運営について以下の報告があった。  
開催日平成27年10月18日。会場、東京家政大学板橋キャンパス。発表申込件数38件（発表者人数41名）が無事に終了した。内、55分間モジュール発表は3件行われ好評であった。モジュール発表は改良の上、次年度も継続するという提案があり、提案について慎重審議の結果、第1号議案は全員一致をもって可決決定された。
- 第2号議案** 事務局長よりホームページ開設についての中間発表があり、継続審議とした。
- 第3号議案** 造形・美術教育フォーラムは発表予定者の都合で、発表不可能となり、いったん白紙に戻し、新しい提案を次回の理事会で行うこととした。  
提案について慎重審議の結果、第3号議案は全員一致をもって可決決定された。

## 公益社団法人日本美術教育連合 第5期 第4回理事会議事録

1. 招集通知 平成27年11月12日（木）
  2. 開催日時 平成27年12月6日（日）午後1時30分～4時30分
  3. 開催場所 東京家政大学
  4. 出席した理事の氏名 大坪圭輔 郡司明子 水島尚喜 宮坂元裕 山口喜雄
  5. 出席した監事の氏名 北澤俊之
  6. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果  
定款の規定に従い互選により理事宮坂元裕が議長に就任した。  
第3回理事会議事録の確認を行った。  
その後、直ちに議案の審議に入った。
- 第1号議案** 造形・美術教育フォーラムについて理事長より平成28年1月24日に開催予定であったが、講演者のやむおえない事情で出席できないとの報告があり、期日が迫っていることでもあるので本年は中止とする旨の提案があり、中止について慎重審議の結果、全員一致をもって可決決定された。
- 第2号議案** 公益社団法人日本美術教育連合ホームページ開設について、事務局長より、業者の選択やドメイン名の選択などの提案があり、ドメイン名は [insea-in-japan.or.jp](http://insea-in-japan.or.jp) 上記のようにすることが慎重審議の結果、全員一致をもって可決決定された。
- 第3号議案** 理事長より、平成28年4月24日開催の定時総会後の講演会講師として、福島大学理事・副学長 三浦浩喜氏に依頼したい旨の提案があり、慎重審議の結果、全員一致をもって可決決定された。

## 役員 の 改 選 に つ い て

平成28・29年度役員改選

選挙管理委員会 委員長 西 村 徳 行

公益社団法人 日本美術教育連合 定款25条により役員の任期満了にともなう選挙は、理事会により選出された選挙管理委員長 西村德行により、平成27年12月5日現在の有権者に同年同月6日に投票用紙を送付し、同年12月26日当日消印有効を締め切りとし、平成28年1月10日日本美術教育連合事務所に於いて開票作業を行った。開票作業は北澤俊之氏、結城孝雄氏にお願いした。オブザーバーとして宮坂元裕理事長が参加した。西村が投票用紙を読み上げ北澤氏、結城氏、宮坂氏がカウントし、3名のカウント数が一致したので、全ての資料を封入封印して終了した。

平成28年1月24日理事会、運営委員会合同委員会の席上開封し、有効投票、無効投票の確認ののち、最後に実名と票数を合わせ、当選を決定した。

有権者数 206名、 投票総数 87票、 無効投票数 2票、 有効投票数 85票

その結果以下のようになった。

理事の候補 西村德行57票、水島尚喜47票、山口喜雄46票、大坪圭輔43票、  
結城孝雄41票、(宮坂元裕41票) 以上

上記の結果、細則4 理事は正会員の投票により、当面の間、投票数上位の者5名とする。平成23年11月13日開催の理事会 第2号議案に於いて、得票数が同数の場合は該当者の話し合いで決定する。の議決に従い、第5位の宮坂・結城で話し合った結果、理事候補者は結城孝雄とした。

以上は平成28年4月24日(日)開催される通常総会に於いて決定される。

## 事務局便り 2

### ■平成27年度（2015年度）会費納入、ご協力ありがとうございます。

昨年10月の「第49回日本美術教育研究発表会」、本連合主催の造形・美術教育力養成講座の開催により、参加者・発表者が増加し、内容の深まるそれぞれの大きな成果をあげることができました。

本年度も、会員皆様のご理解とご協力を多く受けることができ、会費の納入状況が改善されました。しかしながら、まだ納入いただいていない会員もいらっしゃいます。是非、ご入金のご協力をお願いします。3年連続会費未納入の会員は「退会」という対応をいたします。皆様の会費によって本社団法人は成立しております。何卒、ご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

未納の方は！

平成27年度会費 **6,000円** を納入してください。

日本美術教育連合 郵便振替 00170-1-86036

\*納入期限：平成28年3月12日（土）（本年度会計を閉めます）

■お問い合わせ先：事務局 事務局 東京家政大学 家政学部 児童教育学科 第7研究室  
公益社団法人 日本美術教育連合 事務局長 結城 孝雄 迄  
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1東京家政大学  
TEL+FAX 03-3961-5594（研究室直通）  
E-mail takaoyuki@icloud.com  
【郵便振替】（公社）日本美術教育連合 口座番号 00170-1-86036

## ■平成28年度 定時総会 予告■

巻頭ページでもご案内いたしましたように、第6回定時総会を平成28年4月24日（日）に開催いたします。多数ご出席いただきますよう、宜しく願いいたします。定時総会終了後福島大学理事・副学長（中央教育審議会、教育課程企画特別部会委員）三浦 浩喜先生のご講演があります。演題は「これからの美術教育の在り方を考える — 中央教育審議会教育課程企画特別部会の審議などから—」です。入場無料、15：00～16：30、どなたでも参加できます。

■日 時 平成28年4月24日（日） 13：30～

■場 所 聖心女子大学 400番教室  
東京都渋谷区広尾4-3-1（東京メトロ日比谷線広尾駅より徒歩5分）